

大阪府立三島高等学校でがん教育授業を行いました。

5月30日（木）大阪府立三島高等学校でがん教育授業を行いました。

日本のがん教育は近年その重要性が認識され、がん対策基本法（平成18年法律第98号）でも、子どもへのがん教育の必要性について明記されています。

各自治体で医療機関との連携によるがん教育の取り組みが進んでおり、小学校や中学校、高校で授業が行われるようになってきています。当院も一昨年ほど前から教育委員会や学校からの依頼をいただいて医師・看護師の講師派遣を行っています。

今回は大阪府立三島高等学校様のご依頼で、高校1年生（360人）対象に、京林がん性疼痛看護特定認定看護師が授業を行いました。

講義はできるだけわかりやすく、「がんについて知っておきたい4つのこと」「がん検診について」「緩和ケアって何？」というテーマで、がんとは何か、その原因やがんになるリスクを下げるための方法やがん検診の大切さなどについてお話をさせていただきました。生徒の皆さんも熱心に講義を聞いていただき、当院で用意したワークシートには「生徒の皆さんと、皆さんの大事な人をがんから守るためにできること」について書き込んで理解を深めてもらいました。

今回の授業で生徒さんががんの予防や対応について少しでも関心をもってもらえれば幸いです。

